

公共政策プログラム 地域創造・金融コース

コースの目的

地域創造・金融コースは、最新の金融理論や金融手法を駆使し、地域の内外の資源を活用して新たな事業を創造し、地域を成長させる人材を養成することを目的としています。

ディプロマ・ポリシー

地域創造・金融コースで、学生が身に付けるべき資質・能力の目標は次の通りです：

- ① 地域経済、地域金融、官民連携に関する必要な専門知識を持ち、関心や関係する地域の様々な特性に即して課題を適切に設定できる能力
- ② 公共政策に関する幅広い基礎知識を持ち、学術的な知見や理論に加えて、地域経済の実情とそこにおける金融機能の貢献を踏まえた実践的アプローチを通じて、多角的に地域の課題を分析できる能力
- ③ 地域の課題に対して、実効性のあるソリューションや支援策を地域のステークホルダーと協働して新たなビジネスアイデアやプロジェクトとして企画しそれを推進する能力

カリキュラム・ポリシー

【必修科目】

地域創造・金融コースにおける特定課題研究では、地域資源を活かした実効性のあるプロジェクト形成やその支援策等に関する研究成果の取り纏めに向けて、関連する専門分野の知識をより深く修得するとともに、適切なアプローチを用いた分析・評価を行い、その結果に基づいた企画立案・事業推進ができる能力を養成します。研究技法基礎では、特定課題研究を執筆するために必要な学術的な研究のための基礎的な手法を修得させます。

【選択必修科目】

選択必修科目では、公共政策に関する幅広い知識と学術的な知見に基づいて、多角的に政策分析ができる能力を修得します。

【コース指定科目】

コース指定科目としては、「地域経済・金融論」、「ESG と地域金融」、「官民連携・PPP/PFI ファイナンス論」、「地域創生・地域金融特論Ⅰ」、「地域創生・地域金融特論Ⅱ」を指定しています。選択必修科目である「The World and the SDGs」等の科目と併せて履修することで、地域経済や地域金融、官民連携などに関する必要な知識を体系的に修得します。

「地域経済・金融論」では、地域経済の中期的な課題と金融の新たな役割について複眼的な視点から学びます。また、「ESG と地域金融」では、ESG 金融を地域で展開する意義とその実践について探求します。さらに、「官民連携・PPP/PFI ファイナンス論」では、官民連携の代表的手法である PPP/PFI をメインテーマに金融の視点からまちづくりやインフラ再生を考えます。なお、「地域創生・地域金融特論Ⅰ」、「地域創生・地域金融特論Ⅱ」においては、講義に加えてディスカッションや特定のテーマに関する分析・評価結果の発表も行い、企画立案・推進能力や新たなビジネスアイデア・プロジェクトを創造するための能力を養成します。

【個別の研究指導】

学生の個別指導では、主指導教員及び副指導教員の複数名体制での研究指導を行います。

アドミッション・ポリシー

求める学生像

- ・地域の多様な特性を考慮した課題設定に基づき、ビジネスや金融の視点から地域振興を促進するためのプロジェクトや支援策の企画立案・推進を担当することが期待される地方自治体の職員
- ・まちづくりやインフラ再生など地域活性化に向けた官民連携事業や、ESG 金融の地域展開に取り組む地域金融機関の職員
- ・また、地方自治体や地域金融機関以外の団体の職員で、地域経済、地域金融、官民連携などに関する知見を活かし、地域経済の活性化を目指す取り組みの企画立案や実践に関心を持っている方も歓迎いたします。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

本人の職務経験、推薦者の評価内容、政策課題についての理解や目的意識、学習意欲などを総合的に判断して決定します。

カリキュラムマップ： 公共政策プログラム地域創造・金融コース

			ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②	ディプロマポリシー③
区分	科目番号	科目名	① 地域経済、地域金融、官民連携に関する必要な専門知識を持ち、関心や関係する地域の様々な特性に即して課題を適切に設定できる能力	② 公共政策に関する幅広い基礎知識を持ち、学術的な知見や理論に加えて、地域経済の実情とそこにおける金融機能の貢献を踏まえた実践的アプローチを通じて、多角的に地域の課題を分析できる能力	③ 地域の課題に対して、実効性のあるソリューションや支援策を地域のステークホルダーと協働して新たなビジネスアイデアやプロジェクトとして企画しそれを推進する能力
区分I 必修科目	PPP1000J	研究技法基礎	○	○	
区分II 選択必修科目	ECO1000J	ミクロ経済学Ⅰ	○	○	
	ECO1050J	マクロ経済学	○	○	
	ECO2700J	計量経済学	○	○	
	ECO2710J	費用便益分析		○	
	ECO3000J	ミクロ経済学のビジネス実践		○	○
	GOV2100J	政策過程論	○		
	GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価		○	
	GOV3100J	政策マネジメントの実践		○	○
	GEN5020E	The World and the SDGs	○	○	
	GEN5030J	GRIPS ForumⅠ	○		
	GEN5040J	GRIPS ForumⅡ	○		
	IPR1020J	民法の基礎	○		○
	MOR1030J	データサイエンス基礎		○	
	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ		○	○
	MOR2000J	計画と評価の数理	○	○	
	MOR2020J	実践データサイエンス		○	○
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ		○	○
	PAD3100J	EBPM概論	○	○	○
	REG1200J	行政法の基礎	○		○
(コース)	ECO1610J	地域経済・金融論	○	○	○
	ECO2630J	ESGと地域金融	○	○	○
	ECO2640J	官民連携・PPP/PFIファイナンス論	○	○	○
	PAD3000J	地域創生・地域金融特論Ⅰ	○	○	○
	PAD4000J	地域創生・地域金融特論Ⅱ	○	○	○
	DEV2140J	景観・デザイン論			○
	DEV2150J	都市学の理論と実践			○
	DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI	○	○	○
	DEV2180J	水圏国土学			○
	DRM2050J	気象と災害			○
	DRM3010J	災害対策各論Ⅱ		○	○
	ECO2000J	ミクロ経済学Ⅱ	○	○	
	ECO2020J	政府と市場		○	
	ECO2600J	経済政策の理論と展開	○		
	ECO2900J	ゲーム理論	○	○	
	ECO3104E	Policical Economy	○		
	ECO3330J	都市政策の空間分析		○	○
	ECO3440J	世界経済の見方：国際的政策協調の中で	○		
	ECO3750J	経済シミュレーション分析		○	○
	ECO3870E	Agricultural Development			○
区分III 選択科目	ECO3890E	Development Econometrics	○		
	ECO3920E	Economic History and Institutions	○		
	GEN3000E	International Development Policy	○		
	GEN4000J	政策研究演習			○
	GEN5050E	Social Issue Workshop: Learning from Japanese Experiences		○	
	GEN5060E	Social Issue Workshop for Business-Driven Innovation		○	
	GEN5070E	Workshop on Policymaking for Sustainable Development		○	○
	GEN5080J	サイバーセキュリティ	○		
	GEN5090J	AI政策実践論	○		
	GOV1200J	国際協力論		○	
	GOV2110J	日本政治と理論分析		○	
	GOV2205J	国際政治経済		○	
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy		○	
	GOV3110J	政策デザイン論		○	○
	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics		○	
	GOV3500J	経済社会統計の整備と課題：国際的整備の潮流と日本の対応		○	
	GOV3910J	政治過程・政策過程分析のフロンティア演習			○
	PAD2000J	気候変動と地域社会	○	○	○
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済	○	○	○
	MOR3010J	数理モデル分析演習		○	○
	REG2310J	地方自治と行政学	○	○	○
		上記以外の授業科目		○	
区分X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目			
特定課題研究			○	○	○